



持続可能な経営の枠組みを構築する

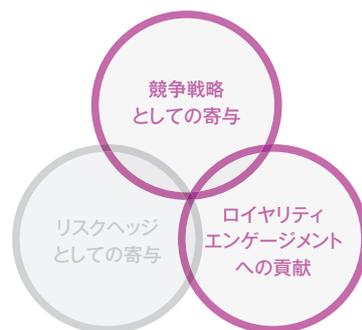
長期的成長を展望し、“ビジョン・経営計画”に
社会価値を組み込み統合させる戦略コンサルティング

ビジョン・経営計画に社会価値を組み込む意義と NRIの戦略コンサルティング

多くの日本企業で持続的成長に向けた「サステナビリティを考慮した経営」へと舵切りする機運が高まっています。ビジョンや経営計画、あるいは事業戦略の中核にサステナビリティの要素を取り込み、その概念を統合する動きも活発化しています。

サステナビリティ経営の潮流は、近い将来、企業経営のオペレーション領域に対してもさまざまな変化や影響をもたらします。しかし、企業や業種・業態によりその対応は異なります。NRIは、企業のサステナビリティ戦略の中核となる、ビジョン・経営計画への社会価値の組み込み～企業のオペレーション領域におけるサステナビリティ要素の融合に向けた戦略コンサルティングを通じてクライアントの持続的成長をサポートします。

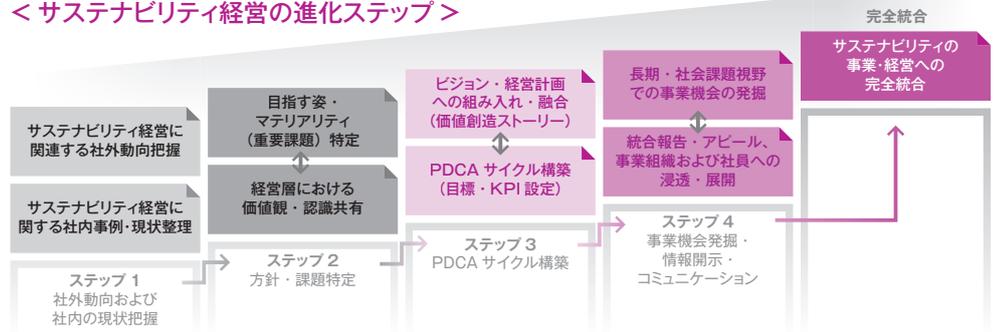
< 獲得できる経営成果 >





サステナビリティを経営・事業に統合することにより 中長期視野での持続的成長を実現

< サステナビリティ経営の進化ステップ >



サステナビリティの概念を経営の根幹に組み込み、 “持続可能な経営の枠組み”を構築

日本企業では、サステナビリティ経営の前身となる概念として、従来のCSR(企業の社会的責任)があげられます。しかし、サステナビリティ経営は、経営・事業のオペレーション領域への関与度が高く、従来のCSR概念とは戦略構築の手法や実行の方法論が大きく異なるものです。推進組織のミッション・位置づけも再考が求められるでしょう。

このように、サステナビリティ経営は、将来の経営・事業のあり方そのものを問う流れとなっています。サステナビリティの概念を「経営の枠組み」に組み込むことで、将来成長に向けたより「持続可能な経営の枠組み」を得ることができます。確実な経営成果獲得のためには、持続的成長に有効な重要課題を特定し、企業経営の中核となるビジョン・経営計画にそれらを組み込むことが第1歩となります。

“持続可能性”と“業種・業界”の双方の知見を結集して、 クライアントをサポートします。

持続可能な経営の枠組みを構築するためには、“サステナビリティ(持続可能性)”に関する知見に加えて“業種・業界”に関する知見が求められます。NRIは、さまざまな業種・業界の経営・事業環境や戦略に精通したコンサルタントが多数活躍しています。NRIは、これらの知見を結集し、クライアントの真の持続成長に向けた取り組みをサポートします。

株式会社 野村総合研究所

コンサルティング事業本部
東京都千代田区大手町 1-9-2
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
<http://www.nri.co.jp>

Copyright©Nomura Research Institute, Ltd.
100-0005-01-1807

ご関心のある方は、詳しい説明が可能ですので、
下記までお問い合わせください。
e-mail: sustainability_c@nri.co.jp